



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月1日

上場会社名 寿スピリッツ株式会社
コード番号 2222 URL <https://www.kotobukispirits.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ経営管理本部長 (氏名) 松本 真司
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

上場取引所 東
TEL 0859-22-7477

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	28,891	43.7	6,622	134.0	6,668	118.3	4,453	123.3
2023年3月期第2四半期	20,099	68.1	2,830	—	3,055	—	1,994	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,485百万円 (119.4%) 2023年3月期第2四半期 2,044百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	28.62	—
2023年3月期第2四半期	12.82	—

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	38,413	28,824	75.0	185.25
2023年3月期	36,953	26,517	71.8	170.43

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 28,824百万円 2023年3月期 26,517百万円

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期については、株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。株式分割を考慮した2023年3月期の期末配当金は1株当たり14円00銭となることから、今回修正する期末配当予想は、実質的に11円00銭の増配となります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,461	20.5	14,192	42.6	14,263	38.5	9,560	36.2	61.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	155,607,600 株	2023年3月期	155,607,600 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	12,070 株	2023年3月期	11,750 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	155,595,770 株	2023年3月期2Q	155,596,400 株

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2023年8月1日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(四半期連結貸借対照表関係)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の5類移行や行動制限が解除されたことにより社会経済活動は一段と正常化に向かい、また、インバウンドが徐々に回復するなど、一部で明るい兆しが見え始めました。一方で、働き手不足の深刻化や原材料価格・エネルギー価格の更なる高騰、また、物価上昇による消費マインドの悪化懸念など、依然として先行き不透明な状態が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、2023年経営スローガンを「超絶ド成長元年!」とし、経営理念の徹底実践をベースとした「全員参画による超現場主義」経営を推進し、人財力及び組織力の向上に注力いたしました。また、美味しさをより一層追求した「プレミアム・ギフトスイーツ」の創造と育成に邁進し、商品力・販売力・売場力の更なるレベルアップ、人財採用と共育、ブランド開発と売場獲得、インバウンド復活準備などの重点対策の推進に取り組みでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28,891百万円（前年同期比43.7%増）、営業利益は6,622百万円（前年同期比134.0%増）、経常利益は6,668百万円（前年同期比118.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,453百万円（前年同期比123.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

① シュクレイ

シュクレイは、更なるブランド価値の向上を図るため、売場ディスプレイの改良、限定商品の発売や超試食販売による販売力の強化などに注力いたしました。また、成田空港など主要国際線ターミナルを中心にインバウンド対策の強化、大型催事出店の展開強化などにも取り組みました。新規出店では、5月に「ザ・メープルマニア」京王新宿店を、6月にはJR東京駅「グランスタ東京」に新ブランド「ザ・ドロス」を出店するなど、計4店の出店を行いました。その結果、売上高は11,713百万円（前年同期比46.4%増）、営業利益は2,412百万円（前年同期比97.2%増）となりました。

② ケイシイシイ

ケイシイシイは、25周年を迎えた「小樽洋菓子舗ルタオ」の更なるブランド価値の向上を図るため、「ルタオ本店」及び「ルタオパトス」の売場改装を行い、商品面では、「ドゥーブルフロマージュ」、「小樽色内通りフロマージュ」などの主力商品を軸に、「まああるガトーノワール」や25周年記念菓「フロマネージュ」などの新商品を加えて、各販売チャネルでの販売強化に注力いたしました。また、インバウンド対策では、主要国際線ターミナルを中心に、販売体制を早期に整え、販売力の向上に努めました。道外店舗では、「Now on Cheese♪（ナウオンチーズ）」などの首都圏ブランドの育成に注力いたしました。その結果、売上高は7,738百万円（前年同期比39.8%増）となり、営業利益は1,366百万円（前年同期比203.3%増）となりました。

③ 寿製菓・但馬寿

寿製菓・但馬寿は、土産需要の回復を見据え、代理店及びグループ会社との連携強化を図り、売場改善提案などによる主力商品対策や新商品開発に注力いたしました。また、山陰地区では、12年に一度の「うさぎ年」に発売55周年を迎えた山陰銘菓「因幡の白うさぎ」の販売強化や築城30周年を迎えた「お菓子の壽城」ではイベント開催などによる集客力の強化に努めました。その結果、売上高は6,239百万円（前年同期比42.1%増）、営業利益は1,344百万円（前年同期比114.0%増）となりました。

④ 販売子会社

販売子会社は、交通拠点チャネルを重点に、土産需要の回復を見据え、主力商品及び新商品による売場面積の拡大に注力いたしました。エリア別では、関西地区は、主力商品「フレンチトーストラングドシャ」のリニューアルや季節限定商品「大阪レモンスカッシュわらび餅」による販売強化、福岡地区では「博多まっかな苺」ブランドの展開強化や新商品「博多万能ねぎ天ぷらえびせんべい」の拡販などに取り組みしました。その結果、売上高は3,373百万円（前年同期比47.4%増）、営業利益は417百万円（前年同期比215.7%増）となりました。

⑤ 九十九島グループ

九十九島グループは、製造小売型経営への変革を図るため、当社グループのシナジーを最大限活用し、製品の改廃、組織改革、製造ラインの見直しなどの経営改革を推進いたしました。また、10周年を迎えたフレンチトースト専門店「アイポリッシュ」では、グランスタ東京のリニューアルオープンに「フレンチトーストプディング」などの東京駅限定商品を発売するなど、更なるブランド認知度の向上に取り組みしました。その結果、売上高は2,914百万円（前年同期比57.8%増）、営業利益は397百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

⑥ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれております。売上高は316百万円（前年同期比2.8%減）となり、営業利益は30百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、38,413百万円となり前連結会計年度末と比べ1,460百万円増加いたしました。

主な要因は、商品及び製品の増加(1,207百万円)、流動資産のその他の増加(537百万円)、受取手形及び売掛金の減少(782百万円)などによるものです。

負債は、9,589百万円となり前連結会計年度末と比べ845百万円減少いたしました。

主な要因は、流動負債のその他の減少(571百万円)、未払法人税等の減少(527百万円)などによるものです。

純資産は、28,824百万円となり前連結会計年度末と比べ2,306百万円増加いたしました。

主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加(4,453百万円)、配当金の支払いによる減少(2,178百万円)などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.2ポイント増加し75.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度に比べ79百万円増加し、16,241百万円(前期末比0.5%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,067百万円(前年同期比40.7%増)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益6,665百万円、非資金項目であります減価償却費539百万円の増加要因があった一方、法人税等の支払額が△2,668百万円、棚卸資産の増減額が△1,341百万円となったこと等による減少要因によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、736百万円(前年同期比143.7%増)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出が666百万円となったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、2,260百万円(前年同期比114.2%増)となりました。

主な要因は、配当金の支払額2,178百万円、長期借入金の返済による支出79百万円などの減少要因によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、上期は、期初予想を上回ったものの、今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症に対する潜在的な不安に加え、物価上昇などにより消費マインドの冷え込みが懸念されるなど、以前として先行き不透明な状況が続くものと予想されており、下期の業績予想は売上面・利益面ともに概ね期初予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,162,263	17,241,730
受取手形及び売掛金	6,074,313	5,291,446
商品及び製品	1,583,653	2,791,244
仕掛品	61,458	99,754
原材料及び貯蔵品	648,392	746,831
その他	210,983	748,309
貸倒引当金	△294	△374
流動資産合計	25,740,768	26,918,940
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,811,177	3,917,227
機械装置及び運搬具(純額)	1,738,068	1,756,712
工具、器具及び備品(純額)	292,314	317,674
土地	2,855,157	2,855,157
リース資産(純額)	10,539	8,780
建設仮勘定	43,147	137,996
有形固定資産合計	8,750,402	8,993,546
無形固定資産	100,803	96,989
投資その他の資産		
その他	2,366,943	2,409,932
貸倒引当金	△5,772	△5,772
投資その他の資産合計	2,361,171	2,404,160
固定資産合計	11,212,376	11,494,695
資産合計	36,953,144	38,413,635
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,562,871	1,646,005
1年内返済予定の長期借入金	140,150	60,180
未払金	1,177,247	1,250,571
未払法人税等	2,755,368	2,228,189
賞与引当金	932,111	1,063,122
その他	1,527,725	955,895
流動負債合計	8,095,472	7,203,962
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
退職給付に係る負債	1,849,604	1,896,865
その他	190,530	188,785
固定負債合計	2,340,134	2,385,650
負債合計	10,435,606	9,589,612

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	23,855,214	26,129,887
自己株式	△5,312	△6,050
株主資本合計	26,390,863	28,664,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,926	36,324
為替換算調整勘定	31,148	49,616
退職給付に係る調整累計額	80,601	73,285
その他の包括利益累計額合計	126,675	159,225
純資産合計	26,517,538	28,824,023
負債純資産合計	36,953,144	38,413,635

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	20,099,935	28,891,341
売上原価	8,328,774	11,159,171
売上総利益	11,771,161	17,732,170
販売費及び一般管理費	8,940,831	11,109,748
営業利益	2,830,330	6,622,422
営業外収益		
受取利息	64	122
受取配当金	3,440	3,044
受取地代家賃	25,873	25,834
その他	199,921	21,974
営業外収益合計	229,298	50,974
営業外費用		
支払利息	286	107
その他	4,331	5,250
営業外費用合計	4,617	5,357
経常利益	3,055,011	6,668,039
特別利益		
固定資産売却益	190	409
関係会社清算益	2,277	—
特別利益合計	2,467	409
特別損失		
固定資産除却損	5,919	2,796
投資有価証券売却損	400	—
特別損失合計	6,319	2,796
税金等調整前四半期純利益	3,051,159	6,665,652
法人税等	1,056,702	2,212,637
四半期純利益	1,994,457	4,453,015
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,994,457	4,453,015

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,994,457	4,453,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,242	21,398
為替換算調整勘定	45,356	18,468
退職給付に係る調整額	380	△7,316
その他の包括利益合計	49,978	32,550
四半期包括利益	2,044,435	4,485,565
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,044,435	4,485,565

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,051,159	6,665,652
減価償却費	551,472	539,601
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	37	80
賞与引当金の増減額 (△は減少)	48,152	131,011
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	50,697	36,125
受取利息及び受取配当金	△3,504	△3,166
支払利息	286	107
投資有価証券売却損益 (△は益)	400	—
固定資産売却損益 (△は益)	△190	△409
固定資産除却損	5,919	2,796
助成金収入	△177,209	△4,325
関係会社清算損益 (△は益)	△2,277	—
売上債権の増減額 (△は増加)	158,712	785,814
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△489,159	△1,341,891
仕入債務の増減額 (△は減少)	54,712	82,405
その他	△358,385	△1,165,252
小計	2,890,822	5,728,548
利息及び配当金の受取額	3,504	3,166
利息の支払額	△286	△107
助成金の受取額	191,049	4,325
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△904,931	△2,668,535
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,180,158	3,067,397
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	600	—
有形固定資産の取得による支出	△262,010	△666,847
有形固定資産の売却による収入	3,701	2,777
無形固定資産の取得による支出	△11,485	△16,023
敷金及び保証金の差入による支出	△8,252	△30,778
敷金及び保証金の回収による収入	16,068	23,210
その他	△40,946	△49,178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△302,324	△736,839
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△119,940	△79,970
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,222	△1,759
自己株式の取得による支出	△527	△738
配当金の支払額	△933,579	△2,178,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,055,268	△2,260,809
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,688	9,718
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	831,254	79,467
現金及び現金同等物の期首残高	9,912,584	16,162,263
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,743,838	16,241,730

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

(当座貸越契約)

当社及び連結子会社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行5行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく当第2四半期連結会計期間末における当座貸越契約に係る借入未実行残高は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
当座貸越極度額の総額	7,800,000千円	3,250,000千円
借入実行残高	—	—
差引額	7,800,000千円	3,250,000千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイセイシイ	寿製菓・但馬寿	販売子会社	九十九島グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	7,783,728	5,321,324	3,022,091	2,266,744	1,380,363	19,774,250
セグメント間の内部売上高又は振替高	218,515	214,341	1,368,235	22,355	466,816	2,290,262
計	8,002,243	5,535,665	4,390,326	2,289,099	1,847,179	22,064,512
セグメント利益(△は損失)	1,223,283	450,713	628,071	132,236	△1,497	2,432,806

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	325,685	20,099,935	—	20,099,935
セグメント間の内部売上高又は振替高	213	2,290,475	△2,290,475	—
計	325,898	22,390,410	△2,290,475	20,099,935
セグメント利益(△は損失)	35,978	2,468,784	361,546	2,830,330

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、損害保険代理業、健康食品事業、並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額361,546千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額673,060千円、セグメント間取引消去額5,218千円、棚卸資産の調整額△34,353千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△282,379千円であります。全社費用は主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	シュクレイ	ケイシイシイ	寿製菓・但馬寿	販売子会社	九十九島グループ	計
売上高						
外部顧客への売上高	11,538,398	7,461,973	4,284,800	3,323,011	1,967,651	28,575,833
セグメント間の内部売上高又は振替高	174,746	276,335	1,954,523	50,126	947,133	3,402,863
計	11,713,144	7,738,308	6,239,323	3,373,137	2,914,784	31,978,696
セグメント利益	2,412,418	1,366,993	1,344,018	417,431	397,408	5,938,268

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	315,508	28,891,341	—	28,891,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,349	3,404,212	△3,404,212	—
計	316,857	32,295,553	△3,404,212	28,891,341
セグメント利益	30,540	5,968,808	653,614	6,622,422

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、損害保険代理業、健康食品事業、並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。

2. セグメント利益の調整額653,614千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額953,945千円、セグメント間取引消去額15,246千円、棚卸資産の調整額△23,481千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△292,096千円であります。全社費用は主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2023年8月1日開催の取締役会決議に基づき、2023年10月1日付で株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

1. 株式分割の目的

株式分割により、投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性の向上と投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2023年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主が所有する普通株式1株につき、5株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	31,121,520株
今回の分割により増加する株式数	124,486,080株
株式分割後の発行済株式総数	155,607,600株
株式分割後の発行可能株式総数	456,000,000株

(3) 株式分割の日程

基準日公告日	2023年9月14日 (木曜日)
基準日	2023年9月30日 (土曜日)
効力発生日	2023年10月1日 (日曜日)

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響については、当該箇所に記載しております。

(5) その他

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

3. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2023年10月1日 (日曜日) をもって当社定款第6条で定める発行可能株式総数の変更を行うものであります。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は次のとおりです。

(下線は変更部分を示します。)

現行定款	変更後
(発行可能株式総数)	(発行可能株式総数)
第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>9,120</u> 万株とする。	第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>45,600</u> 万株とする。

(3) 変更の日程

効力発生日 2023年10月1日 (日曜日)